※令和５年度以降入学生用

学校番号	２０１

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	文学国語	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「文学国語」　（数研出版）						
副教材等	国語力を高める教養講座文芸２５選（第一学習社） 意味から習得　音訓別重要頻出漢字リアルマスター3300（尚文出版） 改訂版　イラストとネットワーキングで覚える現代文単語（いいずな書店） 三訂版　わかる・読める・解ける Key&Point　古文単語 330（いいずな書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１．授業に主体的に取り組む姿勢を身に付けよう。
　・質問や発言をするなど積極的に授業に参加する。　・課題等の提出期限は厳守。
２．学力を定着させる自宅学習の習慣を身に付けよう。
　・予習復習をする。　・授業前後で疑問に思った点などを整理し、発展的学習に生かす。
３．文学作品（小説古文漢文）解釈に必要な知識を身に付け、読解力を構築しよう。
　・語彙、古典文法、古文常識、漢文句形、文学史など、読解に必要な知識を身に付ける。
　・文章を読解する技術を身に付ける。

２　学習の到達目標

多彩な言語活動を通して、言葉による見方・考え方の幅を広げ、文章の内容を的確に理解し、効果的に表現する豊かな資質・高度な能力を、次の通り育成することをめざす。
１．我が国の小説・古文・漢文の諸作品に対する理解を深めることを通し、生涯にわたる社会生活を豊かなものにする国語の多様な知識や技能を身に付けるとともに、積極的に表現する姿勢を涵養する。
２．他者との関わりの中で、自己の思いや考えを整理・深化させ、他者の考えに深く共感したり、伝え合う能力を高めるとともに、論理的に考える力や豊かに想像したりする力を伸長させる。
３．言葉を通して他者や社会に関わる意識を確立することで、言葉の持つ価値への認識を深めるとともに、読書に親しむなか、自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を新たにする。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を進んで身に付けようとするとともに、我が国の言語文化に対し強い興味関心を持ち、理解を深めるための努力を積み重ねている。	「書くこと」「読むこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとするとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

※令和５年度以降入学生用

先に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	・虎になる前の李徴の人柄を整理し、まとめる。 ・李徴自身は、自分が虎になった理由をどのように分析しているかをまとめる。 ・作者がこの作品を人間が虎になるという設定にした理由について考える。 ［教材］ 『山月記』	a：小説の世界観を的確に読み取るための語彙力を身につけ、得た知識を読解に反映させている。 b[読]：『山月記』の作品特性を踏まえ、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 c：人間が虎になるという設定の効果について、単元の学習内容を生かして粘り強く考察しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 振り返りシート	課題 振り返りシート
	『山月記』と『人虎伝』を比較し、内容上の違いをまとめる。 ［教材］ 『人虎伝』	a：漢文を読むために必要な句形のきまりや語彙について理解を深めている。また、漢文を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について、理解を深めている。 b[読]：伝奇小説の展開に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。 c：『山月記』と『人虎伝』の差異を見極め、学習課題に沿って考察しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 振り返りシート	課題 振り返りシート
	『水仙』の「僕」が考える忠直卿の「天才の不幸」と「殿様の不幸」は、『忠直卿行状記』ではそれぞれどのように描かれているかを読み取る。 ［教材］ 『忠直卿行状記』	a：文学的な文章を読むことを通して、現代人と登場人物達との価値観の相違を踏まえ、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 b[読]：文学的な文章を読むことを通して、現代人と登場人物達との価値観の相違を考え、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。 c：『水仙』と『忠直卿行状記』の差異を見極め、学習課題に沿って考察しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 振り返りシート	課題 振り返りシート
	・「僕」は静子夫人のどのような点を忠直卿と重ねているかを考える。 ・静子夫人を忠直卿に重ねたとき、「僕の役割」はどのようなものだったかを考える。 ・「僕」が「静子さんの絵を見たくなった」時の「僕」の心情を考える。 ・「僕」が「水仙の絵」を引き裂いたのはなぜだと考えられるか、自分の意見をまとめる。 ［教材］ 『水仙』	a：戦前に創作された文章を読むことを通して、現代と当時の価値観の相違を踏まえ、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 b[書]：『忠直卿行状記』について整理し、作品内に取り入れることでどのような効果をあげているか、自身の考えをまとめている。 c：「僕」が「水仙の絵」を引き裂いた理由を考察し、これまでの学習を生かして文章にまとめようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 振り返りシート	課題 振り返りシート

※令和５年度以降入学生用

2学期	・登場人物の人物像をまとめる。 ・これらの作品に込められた寓意は、どのようなものかを話し合う。 ・作品の主題を話し合う。 ［教材］ 『山椒魚』 『赤い繭』 『掟の門前』	a：それぞれの作品の登場人物の立場・行動・心情を本文の表現に即して的確に読み取り、登場人物それぞれの内面の変化を理解しようとしている。 b[書]：それぞれの作品が描かれた時代の背景や社会状況が、作品の主題にどのような影響を与え、どのように関連しているかを考察し、的確にまとめられている。 c：それぞれの作品に込められた寓意について、どのようなものか、また、どのような状況を表しているのかを考察し、意見の交換を経て、自分の言葉でまとめようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 振り返りシート	課題 振り返りシート
	・三つの現代語訳と翻案作品には、表現上どのような違いがあるか、原文を参照しつつ、比較の観点ごとに分けてまとめる。 ［教材］ 『源氏物語』 『窯変源氏物語』	a：古文を読むために必要な文語のきまりや古典常識について、理解を深めている。また、古典の物語と現代の小説のそれぞれの特質について理解を深めている。 b[読]：原文と三つの現代語訳、翻案作品を比較するなどして、文体の特徴や表現手法の相違について考察し理解を深めている。 c：原文と三つの現代語訳、翻案作品それぞれの違いを詳細に分析し、これまでの学習成果を生かしてまとめ、表現しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 振り返りシート	課題 振り返りシート
3学期	豊太郎の置かれている状況を四つに分け、それぞれの時期で豊太郎が望んでいた生き方をまとめる。 ・豊太郎の「弱くふびんなる心」は、彼のどのような生き方に表れているかを考える。 ・エリスの豊太郎に対する心情変化をまとめる。 ［教材］ 『舞姫』	a：文語で書かれた文章を読むためのきまりを踏まえ読解することで、作品世界の全体像を的確に把握しつつ、物語の展開について深い理解をするに至っている。 b[読]：登場人物それぞれの置かれている状況・立場・人物像を把握しつつ、場面ごとの局面における心情の変化について分析・考察し、自分の言葉でまとめることができる c：本作品の時代背景を調べ、その社会状況が登場人物それぞれの思惑、行動にどのように影響しているか、また、登場人物の人物像とどのように関連付けられるかを考察し、まとめようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 振り返りシート	課題 振り返りシート

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　２０　）時間

・読むこと　…　（　５０　）時間